



2016年3月期（120期） 決算説明資料

2016年5月12日

グンゼ株式会社
(証券番号 3002)



1. 2016年3月期 決算概要

I-1. 2016年3月期 業績

連結業績

(単位：百万円)

	2016年 3月期	2015年 3月期	対前期		利益率(%)	
			増減額	増減率 (%)	2016年 3月期	2015年 3月期
売上高	138,324	141,172	△2,847	△2.0	—	—
営業利益	3,662	3,084	578	18.7	2.6%	2.2%
経常利益	791	4,933	△4,142	△84.0	0.6%	3.5%
親会社株主に 帰属する当期 純利益	-1,201	3,215	△4,417	—	—	2.3%

営業外損益：▲2,871（為替差損：△690、OP取引評価損△2,869）

特別損益：▲1,598（固定資産減損：△1,326、事業構造改善費：△496）

I-2. 決算サマリー

機能ソリューション事業

(単位：億円)

対前年	増減	主なポイント
売上高	▲35	<ul style="list-style-type: none"> ◆プラスチックフィルム分野は、主力の国内シュリンクフィルムが飲料用途を中心に低迷 ◆エンジニアリングプラスチック分野は、OA用途での新興国市場景気停滞や半導体産業での在庫調整影響により低調に推移
営業利益	—	<ul style="list-style-type: none"> ◆電子部品分野は、タッチパネルの競争激化で採算性が厳しく、海外生産工場再編・合理化等に取り組んだが業績への貢献に至らず ◆メディカル分野は、北米向けが引き続き好調、国内・中国向け販売も順調に推移

アパレル事業

対前年	増減	主なポイント
売上高	5	◆暖冬響くも、インナーウエアは主力ブランド刷新と成長販路拡大により売上減少に歯止め
営業利益	7	◆レッググウエアは、ストッキングの主力「サブリーナ」が好調、レギンスパンツも売上伸長

ライフクリエイティブ事業

対前年	増減	主なポイント
売上高	1	◆商業施設「グンゼタウンセンターつかしん」がテナント再編リニューアル効果により好調
営業利益	—	◆スポーツクラブ分野は、出店効果により売上は増加も、新規店の初期費用が影響

I-3. セグメント別業績

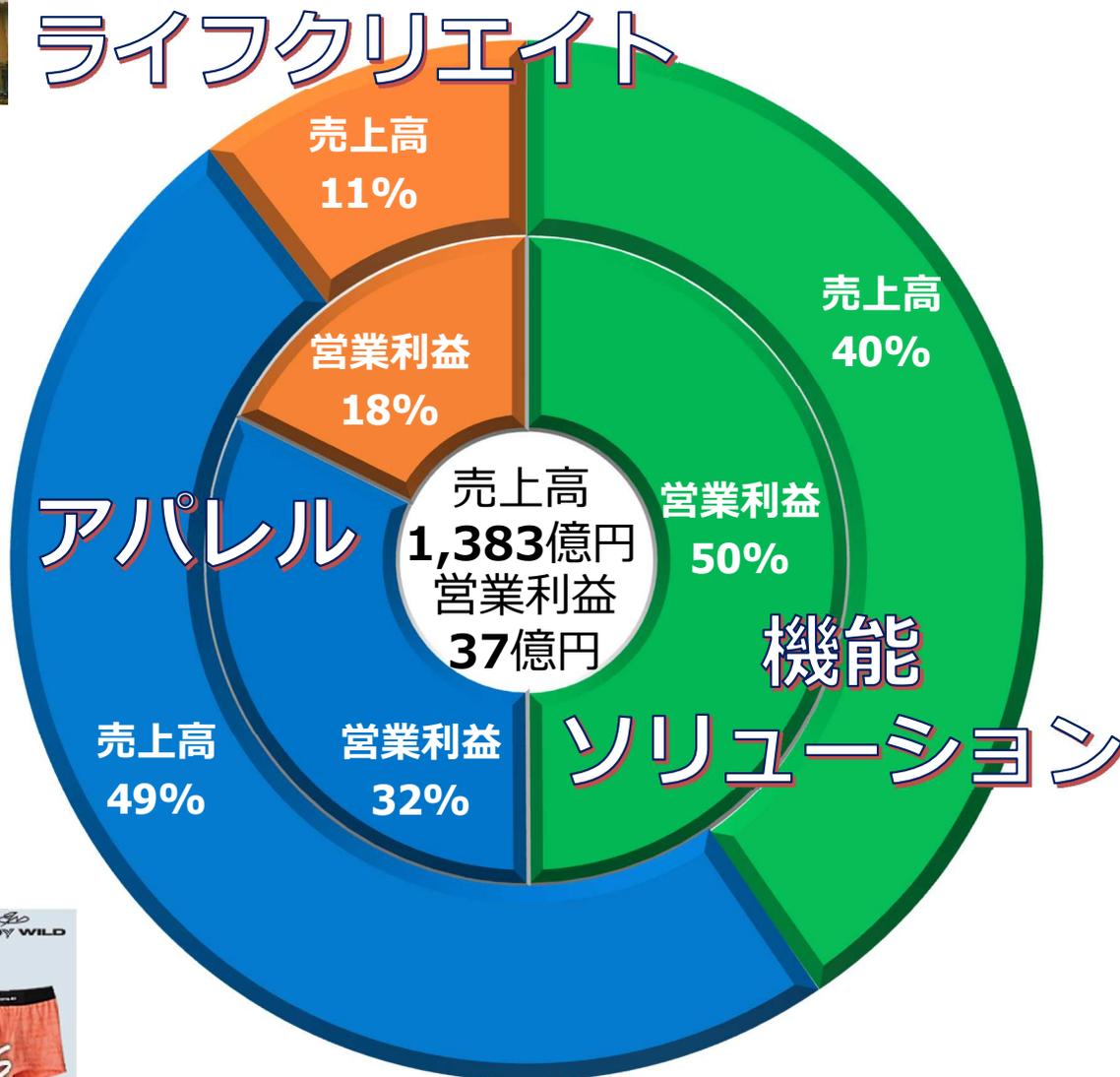
(単位：百万円)

	売上高			営業利益（下段：利益率）		
	2016年 3月期 (2015年度)	2015年 3月期 (2014年度)	増減 (率)	2016年 3月期 (2015年度)	2015年 3月期 (2014年度)	増減 (率)
機能 ソリューション	56,171	59,689	△3,518 △5.9%	3,440 6.1%	3,393 5.7%	47 1.4%
アパレル	68,164	67,635	528 0.8%	2,232 3.3%	1,491 2.2%	740 49.7%
ライフ クリエイト	14,635	14,537	96 0.7%	1,221 8.3%	1,257 8.6%	△35 △2.9%
合計	138,324	141,172	△2,847 △2.0%	3,662 2.6%	3,084 2.2%	578 18.7%

I-4. セグメント別構成比



ライフクリエイト



I-5. 特別損益

	2016年 3月期	2015年 3月期	増減
退職給付制度変更関連	—	1,229	△1,229
固定資産処分関連	-22	-311	289
事業構造改善費用（電子部品等）	-496	-99	△397
固定資産減損処理（電子部品）	-1,326	0	△1,326
その他特別損益	246	-148	394
特別損益合計	-1,598	672	△2,270

前期：退職給付制度の改定に伴う移行利益 1,229百万円
 （確定拠出年金のUI付を27%から41%へ改定）

I-6. 主要財務・経営指標(連結)

	単位	2016年 3月期	2015年 3月期	増減
ROA : 総資産営業利益率	%	2.1%	1.8%	0.3
ROE : 自己資本当期純利益率	%	△ 1.1%	2.8%	△ 3.9
総資産	百万円	169,749	175,331	△ 5,582
自己資本	百万円	105,158	115,643	△ 10,485
自己資本比率	%	61.9	66.0	△ 4.1
有利子負債額	百万円	31,407	29,546	1,861
BPS : 1株当たり純資産	円	562.44	603.87	△ 41.43

I-7. キャッシュフロー

キャッシュフロー

(単位：百万円)

	2016年 3月期	2015年 3月期	増減
営業活動	11,775	9,512	2,262
投資活動	△12,046	△9,240	△2,806
FCF	△271	272	△543
財務活動	△1,274	1,726	△3,001

■ 主な営業CF

減価償却費	6,604
売上債権の減	2,007
たな卸資産の減	1,125
保険金の受取額	933

■ 主な投資CF

固定資産の取得	△6,690
投資有価証券の取得	△5,897

■ 主な財務CF

借入金及びCPの増加	1,889
配当金支払	△1,432
自己株式取得	△1,656



Ⅱ. 事業セグメント別の概況

Ⅱ-1. 120期の事業概況

◆ 機能ソリューション事業 1

■ プラスチック

米国事業など収縮フィルムの海外強化

◆ 製品群

概況

平板収縮	<ul style="list-style-type: none"> • 主力の国内飲料用途が市場縮小するも、付加機能品を強化 • 海外市場はアセアン向けは好調
OPP	<ul style="list-style-type: none"> • カット野菜用途の防曇タイプは堅調も汎用品で苦戦
複合ナイロン	<ul style="list-style-type: none"> • 輸出品伸長に加え「バリアナイロン」新商品が市場で高評価
多層フィルム	<ul style="list-style-type: none"> • カスタムグレードの新商品開発遅延が影響



■ 複合ナイロン新製品
HEPTAX-PF type

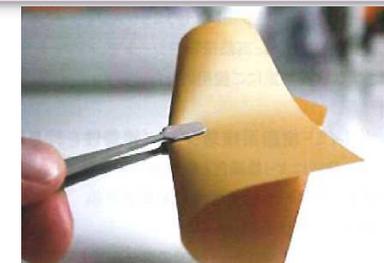
■ エンジニアリングプラスチック

半導体関連など繊維技術活用製品の拡大

◆ 製品群

概況

カラー中間転写ベルト	<ul style="list-style-type: none"> • 海外市況、開発機種 of 絞込みや内製拡大が影響
フッ素樹脂チューブ	<ul style="list-style-type: none"> • OA機器のボリュームゾーンの市場縮小により ローラー等の部品市場が縮小
一般産業用途	<ul style="list-style-type: none"> • 半導体産業の需要変動が影響



■ 新開発製品
ポリイミド樹脂系シート

Ⅱ-2. 120期の事業概況

◆ 機能ソリューション事業 2

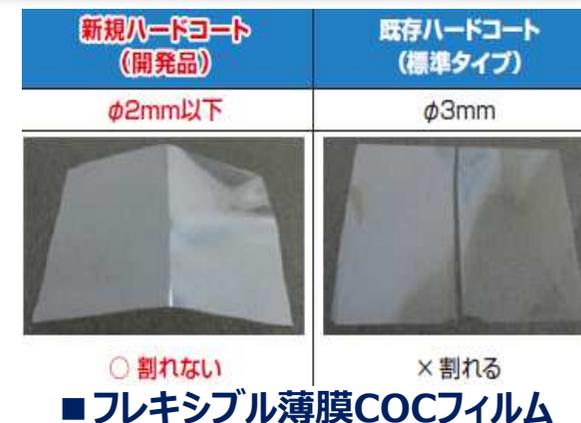
■ 電子部品

工場再編・合理化とフィルム販売強化

◆ 製品群

概況

抵抗膜方式	<ul style="list-style-type: none"> FA用途で安定受注を継続、再建の柱として再注力
PCAP完成品	<ul style="list-style-type: none"> B to B高級機種に絞った販売に特化するも販売不振
半製品	<ul style="list-style-type: none"> 中国スマホ市場の減速で撤退
フィルム販売	<ul style="list-style-type: none"> 9H高硬度フィルムカバーの開発に苦戦



■ メディカル

縫合補強材の販売拡大と中国生産基盤の確立

◆ 製品群

概況

縫合補強材	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き米国向け肥満治療用途で高評価
骨接合材	<ul style="list-style-type: none"> 頭蓋顎顔面領域でフラットプレートシステムが販売好調
人工皮膚	<ul style="list-style-type: none"> 熱傷領域を中心にサイズラインナップを拡充
縫合糸	<ul style="list-style-type: none"> 中国深圳工場生産が本格稼動



■ 中国深圳工場

II-3. 120期の事業概況

◆ アパレル事業

全体

- 主カブランドの再構築と成長チャネル戦略で売上げ減少に歯止め
- 差異化技術商品群の拡充により販売の底上げに成功
- 直営アウトレットは3月に2店舗（幕張・越谷）出店で計8店舗

■ インナーウェア分野

成長チャネルへの経営資源重点投入

- 主カブランドが堅調に推移、差異化技術商品の販売が好調
- 【快適工房】リニューアル効果で順調に推移
- 【BODYWILD】カジュアル品種の拡大で販売底上げ
- 【KIREILABO】・【Tuche】の差異化技術商材
 [完全無縫製]や「縫い目0（カットワ）」が好調



■ レッグウェア分野

新価値を創造するMD（マーチャンダイジング）の推進

- 大型販促を展開の「SABRINA」が好調に推移、ヒットアイテムの「レギンスパンツ」も売上伸長
- 新付加価値商品群の単価アップ戦略が奏功
- メンズフットカバーや新発売のメンズレギパンも好評

Ⅱ-4. 120期の事業概況

◆ ライフ クリエイト事業

■ 不動産関連分野

<商業施設【つかしん】>

- 2006年リニューアルオープン以降で最大の来街者数(1,329万人)を達成

<遊休地再開発>

- 綾部賃貸住宅は、3月：Ⅰ期（4棟、40戸）竣工、賃貸開始
6月：Ⅱ期（2棟、24戸）竣工予定
- 夙川賃貸住宅計画は、10月末竣工



<綾部グランブルー>

■ スポーツクラブ分野

- 既存店業績は前年並みに推移したが、新規店の開発費用が嵩む

<新規開業店>

- イオンモール広島祇園（広島県広島市、2016年3月開業）
- 京都八幡（京都府八幡市、2016年7月開業予定）

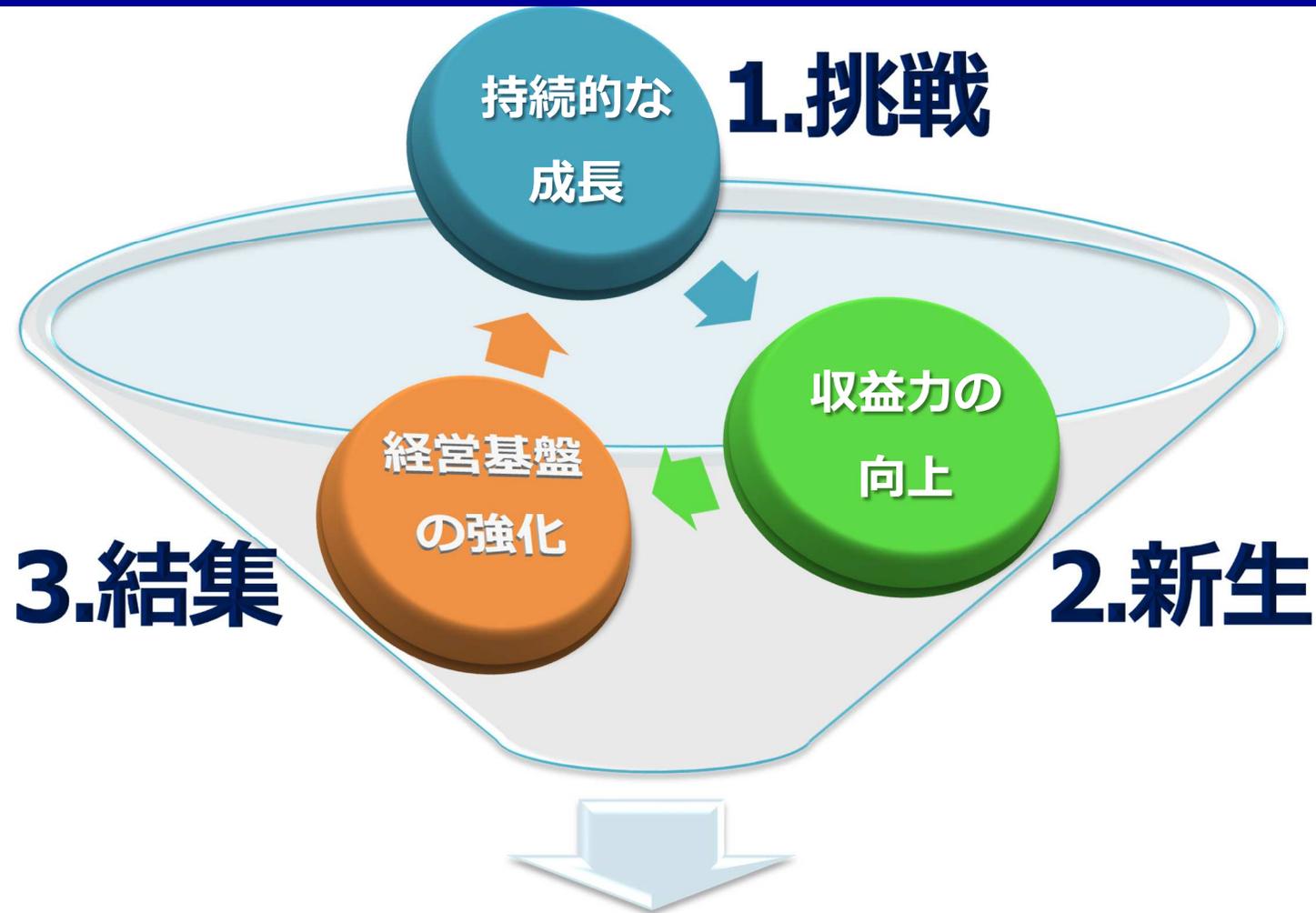


<広島祇園店>



Ⅲ. 今後の見通し

Ⅲ-1. 2016年度 経営方針



創立120周年の節目に『知行合一』
を實踐し、CAN 20目標を達成する

Ⅲ-2. 2017年3月期連結業績予想

業績予想

(単位：百万円)

項目	2017年3月期 (121期) 連結		2016年3月期 (120期) 連結		対前年	
	業績予想	利益率 (%)	実績	利益率 (%)	増減	増減率 (%)
売上高	141,000		138,324		2,676	1.9%
営業利益	4,000	2.8%	3,662	2.6%	338	9.2%
経常利益	4,600	3.3%	791	0.6%	3,809	481.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,600	1.8%	-1,201	-	3,801	-

第121期(2017年3月期)配当は、7.5円/1株を予定しております。

Ⅲ-3. セグメント別業績予想

セグメント別の対前期比較

(単位:百万円)

	売上高			営業利益 (下段: 利益率)		
	2017年 3月期 (2016年度)	2016年 3月期 (2015年度)	増減 (率)	2017年 3月期 (2016年度)	2016年 3月期 (2015年度)	増減 (率)
機能 ソリューション	54,200	56,171	△1,971 △3.5%	3,700 6.8%	3,440 6.1%	260 7.6%
アパレル	71,300	68,164	3,136 4.6%	2,400 3.4%	2,232 3.3%	168 7.5%
ライフ クリエイト	16,100	14,635	1,465 10.0%	1,300 8.1%	1,221 8.3%	79 6.5%
合計	141,000	138,324	2,676 1.9%	4,000 2.8%	3,662 2.6%	338 9.2%

Ⅲ-4. 株主還元

1株配当金と配当性向の推移



自社株の状況



明日をもっと、こちよく

GUNZE

本資料のうち、業績見通し等に記載されている内容は、現在入手可能な情報による判断に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策を保証するものではありません。